



令和8年4月1日

学校経営の基本方針

藤本高雄

もっと

みんな

楽しい大手の小学校

<目指す学校像> 「もっと」「みんな」楽しい大手の小学校

令和8年度は、重点目標を「探究し続ける子供」と設定する。そして、「探究し続ける子供」に必要な資質・能力を「情報探究力」「人間関係力」「学びに向かう力」（構成要素として、これまで重視していた「認知能力」「非認知能力」等）とする。そして、これら資質・能力を意図的・計画的に育成する教育課程を編成する。

「探究し続ける子供」の育成を通して、「楽しい大手の小学校」の具現を図りたい。本年も昨年度に引き続き、「もっと」「みんな」を強調し、子供・教職員・保護者・地域で共有しながら、誰にとっても「楽しい大手の小学校」となるよう取り組む。

<学校経営方針>

1 「これまで」「これから」を大事にした教育活動の推進

- ・「これまで」の大手町小のよさを生かす
 - *子供観：子供は本来的に学びたい、できるようになりたいと願う存在である
 - *指導観：子供が本来的にもっている力を引き出す
 - *教育観：子供の「求め（思いや願い）」を重視して子供と共につくる
 - *「探究」「ふれあい」を両輪としたカリキュラム創り
- ・「これから」の教育を見据えた取組に確実に取り組む
 - *「好き」を育み、「得意」を伸ばす（論点整理より）
 - *自分の意見を形成し、対話と合意ができる（論点整理より）
 - *「チーム担任制」を色濃く出した学年経営
 - *「脱カリキュラムオーバーロード」「時数削減」への挑戦
 - *働きがいが高まる「業務改善」

2 地域の住人の学校への愛着や誇り・期待に応える学校運営

- ・地域の教育資源を活用した活動や地域への発信の充実を図る
- ・同軸化の理念を具現する

3 当たり前のことを誠実に実行する職員集団

- ・「子供中心」で団結し、明るくさわやかに取り組む職員集団
- ・お互いの持ち味を尊重して、協力して取り組む職員集団
- ・凡事徹底・日常重視：子供・家庭・地域からの尊敬・信頼

子供の求め（子供中心主義）
×教師の願い（指導性）

子供たちの思いや願いを実現し、無限の可能性を引き出す

もっと みんなで 楽しい大手の小学校 ～学校の魅力アップ～

子供にとって 保護者にとって 地域にとって 教職員にとって

裏面あり

<大切にしたいこと>

要請があれば、スーパージョットとして出動します！

- ◇職員（子供）一人一人をよく知り、強みを生かす
- ◇地域に入り、地域（子供・学校・保護者・地域等）を知り、かかわる
- ◇職員全員が、大手町小で働いていることに「誇り」「やりがい」「充実感」「愛着」を感じる学校にする
- ◇「働き方改革」から「超働き方改革」「生き方・休み方改革」へ
 - ・効率化、合理化を意識した効果的な仕事の進め方、業務改善
 - ～大事なことは何かを見極める、メリハリをつける～
 - ・「年次有給休暇」の計画的な取得と「特別休暇」の積極的な取得



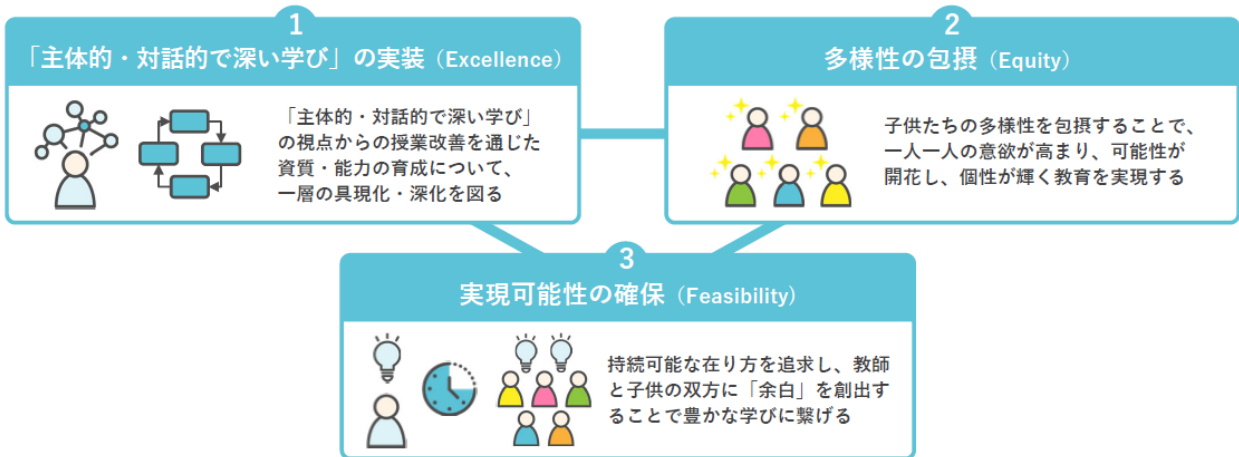
開かれた校長室に！

～教育課程特別部会「論点整理」～

1.学習指導要領改訂の大きな方向性とは？

次期学習指導要領に向けた基本的な考え方

～あらゆる方策を活用し、三位一体で具現化～



学びをデザインする高度専門職としての教師 デジタル学習基盤をはじめとする基盤整備
 「裁量的な時間」をはじめ柔軟な教育課程による余白 総合的な勤務環境整備

多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに

生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手をみんなで育む

次期学習指導要領に向けた基本的な考え方

自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手の育成

「好き」を育み、「得意」を伸ばす
 (興味・関心)



当事者意識を持って、自分の意見を形成し、対話と合意ができる

～先に「お詫び」と「感謝」～